

佳作

パパのおしごと

鹿児島県 薩摩川内市立長浜小学校一年 上江 将誠

ぼくは七月、おねえちゃんとママとパパのおしごとをみにいきました。

ぼくがさめをみたいといったからです。するとパパは、

「さめをみたい？ パパたちのおふねにのる？」
といいました。

ぼくはとてもよろこびました。

あさ八じにふねにのると、しろくてまるいものがたくさんおちていました。

おじちゃんにきくと、

「これは、いかのたまごだよ。」

とおしえてくれました。

あつというまにあみのあるところにつくと、パパたちはあみをもちあげたりひっぱったりしていました。

ママとおねえちゃんとみていると、かめがみえてきました。

「うわー。」

とびっくりしました。

どんどんあみをひっぱっていくとかめやさかながみえてきました。

さかなたちは、あみのなかでバシャバシャとんできました。

いっしょうけんめいあみをひっぱっているパパをみて、「すごいなー、ちからもちだなあ」とおもいました。あみにはいつていたかめをうみにかえして、パパたちはさかなをおふねにうつしてせびのみなどにかえりました。

おおきなおふねにのってうんでんしてるところがかっこよかったです。

みなどにつくと、パパはこおりをあつめたり、さかなをいれるはこをじゅんびをしていました。

そしたらおじちゃんがさめをほいとみせてきました。こばんざめというさかなでした。

はじめてみたこばんざめは、くろいせんがかっこよくて、しましまのきゅうばんがかっこよかったです。

でも、ぼくはさめのせびれがきもちわるくてさわれなかったです。こんどはがんばってさわってみたいです。

ぼくはパパがしごとをしているところをみて、あさはやくからあつっいなかでしごとをしていますごいな、かっこよかったなーとおもいました。